



2021年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 株式会社 不二家
 コード番号 2211 URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 宣行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務人事本部長 (氏名) 佐野 正樹
 定時株主総会開催予定日 2022年3月24日 配当支払開始予定日 2022年3月25日
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5978-8100

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期の連結業績(2021年1月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	104,751	5.7	4,146	66.0	5,218	71.9	3,173	203.3
2020年12月期	99,085	4.1	2,497	35.9	3,036	29.4	1,046	13.4

(注) 包括利益 2021年12月期 4,665百万円 (229.3%) 2020年12月期 1,416百万円 (9.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	123.11		6.3	7.1	4.0
2020年12月期	40.59		2.2	4.2	2.5

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 476百万円 2020年12月期 352百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	75,720	54,356	68.5	2,012.23
2020年12月期	71,367	50,284	67.6	1,871.39

(参考) 自己資本 2021年12月期 51,867百万円 2020年12月期 48,235百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	7,478	4,653	1,285	14,364
2020年12月期	6,190	3,163	1,699	12,575

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期		0.00		15.00	15.00	386	37.0	0.8
2021年12月期		0.00		30.00	30.00	773	24.4	1.5
2022年12月期(予想)		0.00		30.00	30.00		22.7	

(注) 2021年12月期期末配当金内訳 普通配当25円00銭 記念配当5円00銭

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	47,000		1,900	17.2	2,200	2.0	1,000	15.4	38.80
通期	99,000		5,300	27.8	5,800	11.2	3,400	7.2	131.90

(注) 2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想の売上高は当該会計基準等を適用した業績予想となります。このため、当該基準適用前の2021年12月期の実績値に対する増減率は記載しておりません。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)
 期末自己株式数
 期中平均株式数

2021年12月期	25,784,659 株	2020年12月期	25,784,659 株
2021年12月期	8,459 株	2020年12月期	9,642 株
2021年12月期	25,775,090 株	2020年12月期	25,775,066 株

(参考)個別業績の概要

2021年12月期の個別業績(2021年1月1日～2021年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	84,619	7.8	2,598	88.2	3,729	249.8	2,050	378.5
2020年12月期	78,525	3.6	1,380	181.3	1,066	52.2	428	30.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期	79.54	
2020年12月期	16.62	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年12月期	58,708		41,746		71.1		1,619.59	
2020年12月期	54,894		40,081		73.0		1,554.96	

(参考) 自己資本 2021年12月期 41,746百万円 2020年12月期 40,081百万円

<個別業績の前年実績値との差異理由>

売上高については、洋菓子事業、製菓事業ともに好調に推移し、前期比107.8%となりました。

利益面での前期との差異理由については、営業利益では好調な売上のもと生産性が向上し、また販売管理費の抑制等により前期比188.2%となりました。経常利益では前期に子会社に対する貸倒引当金繰入額を計上していたこともあり前期比349.8%となりました。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、景気に持ち直しの動きがみられるものの、感染拡大の影響を受け、厳しい状況となりました。

食品業界においては、外出や会食の自粛があり、特に飲食店では大きな影響を受け、厳しい経営環境となっております。

このような状況下にあつて当社グループは、お客様に、より良い商品と最善のサービスを提供できるよう、従業員の健康管理をはかりつつ、巣ごもり消費など新しい生活様式に対応した営業施策のもと、売上と利益の確保につとめてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、単体の好調な売上により、1,047億51百万円（対前期比105.7%）となり、前期実績を上回りました。利益面でも販売管理費など経費の圧縮につとめた結果、営業利益は41億46百万円（対前期比166.0%）、経常利益は52億18百万円（対前期比171.9%）、親会社株主に帰属する当期純利益は31億73百万円（対前期比303.3%）となり、増収増益となりました。

セグメント別売上高の状況

事業別		当連結会計年度（第127期）		前連結会計年度（第126期）		対前期比	増減
		2021年1月1日から 2021年12月31日まで		2020年1月1日から 2020年12月31日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
		百万円	%	百万円	%	%	百万円
洋菓子事業	洋菓子	25,411	24.2	23,694	23.9	107.2	1,717
	レストラン	4,166	4.0	4,245	4.3	98.1	△78
	計	29,578	28.2	27,939	28.2	105.9	1,638
製菓事業	菓子	67,213	64.2	63,172	63.8	106.4	4,040
	飲料	4,971	4.7	4,849	4.9	102.5	122
	計	72,185	68.9	68,022	68.7	106.1	4,162
その他		2,987	2.9	3,123	3.1	95.7	△135
合計		104,751	100.0	99,085	100.0	105.7	5,665

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

<洋菓子事業>

当社単体の洋菓子においては、洋菓子チェーン店にて、産地・品種にこだわった原料を使用した新製品や人気製品を拡販する施策を週替わりで実行して、お客様に選ぶ楽しさを提供してまいりました。同時に、テレビCMを含め特に若年層に向けた販売促進活動を展開して売上確保をはかった結果、前期実績を上回る売上となりました。なお、当連結会計年度末の不二家洋菓子店の営業店舗数は、前期差25店増の976店となっております。

広域流通企業との取り組みについては、取引先の拡大に加え、『洋菓子屋さんシリーズ』の「シュークリーム」などの販売が好調に推移し、アニメキャラクターとのコラボレーションを実施したパフケーキなどの製品提案も積極的に行って売場確保をはかりました。

上記の結果、単体の洋菓子の売上は、対前期比107.4%となり、利益面では、好調な売上のもと販売管理費の改善につとめ、黒字化を達成することができました。

㈱不二家神戸（2021年4月1日付で㈱スイートガーデンから商号変更）では、前期よりチェーン店の不二家ブランドへの転換を進め、不二家製品の品揃えを充実させた結果、ケーキ類の販売が伸長し、増収に転じました。利益面では物流費など販売管理費の改善を進めることができました。

㈱ダロワイヨジャパンでは、店舗での積極的な販売促進活動のもと、主力製品であるマカロンの販売が伸長し、インターネット通販等の売上好調もあり、前期を上回る売上となっております。また、好調な売上により生産性が向上し、黒字化を達成することができました。

この結果、洋菓子事業における洋菓子の売上高は254億11百万円（対前期比107.2%）となりました。

レストラン事業については、2021年7月1日付で㈱不二家フードサービスを当社に吸収合併いたしました。洋菓子販売を有するレストランとしての特長を活かし、ライフスタイルや市場環境の変化に対応した店舗作り、メニュー強化等に取り組んでおります。好調なケーキ類の拡販や、料理のテイクアウトシステムの導入により売上は徐々に回復傾向にありますが、不採算店の閉鎖もあり、売上高は41億66百万円（対前期比98.1%）となりました。

以上の結果、当連結会計年度における洋菓子事業全体の売上高は295億78百万円（対前期比105.9%）となりました。

<製菓事業>

当社単体の菓子においては、「カントリーマアム チョコマみれ」の好調な販売に対して生産能力を最大限に増強して対応いたしました。さらに、需要に合わせた包装形態も取り揃え、一層の拡販をはかってまいりました。また、『ルック』や発売70周年を迎えた『ミルクィー』など主力ブランド製品において新製品を発売するとともにキャラクターコラボレーションやテレビCM、デジタル広告配信等の販売促進活動を積極的に展開し、売上拡大につとめてまいりました。

この結果、当社単体の菓子の売上は、対前期比105.3%となり、利益面でも、生産性の向上等により、増益となりました。

不二家（杭州）食品有限公司では、中国経済停滞の影響を受ける中、新規販路の開拓やインターネット通販の拡大に注力し、前期実績を上回る売上を確保できましたが、原料価格の高騰もあり、利益面では前期実績をわずかに下回りました。

この結果、製菓事業における菓子の売上高は672億13百万円（対前期比106.4%）となりました。

飲料については、外出自粛の影響で低迷していた自販機販売の回復があり、売上高は49億71百万円（対前期比102.5%）と前年同期の実績を上回りました。

以上の結果、当連結会計年度における製菓事業全体の売上高は721億85百万円（対前期比106.1%）となりました。

<その他>

キャラクターグッズ販売、ライセンス事業及び㈱不二家システムセンターのデータ入力サービスなどの事務受託業務は、引き続き好調であります。不動産賃貸事業の家賃収入の減少が影響し、その他事業全体の売上高としては、29億87百万円（対前期比95.7%）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりであります。

流動資産は371億10百万円で、主に現金及び預金や受取手形及び売掛金の増により前連結会計年度末に比べ14億91百万円増加いたしました。固定資産は386億10百万円で、主に有形固定資産の増により前連結会計年度末に比べ28億62百万円増加いたしました。この結果、総資産は757億20百万円で前連結会計年度末に比べ43億53百万円増加いたしました。

また、流動負債は179億15百万円で、主に支払手形及び買掛金や未払金の増により前連結会計年度末に比べ7億73百万円増加いたしました。固定負債は34億48百万円で、主にリース債務の返済や退職給付に係る負債の減により前連結会計年度末に比べ4億91百万円減少いたしました。

純資産は543億56百万円で、主に利益剰余金の増により前連結会計年度に比べ40億71百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は68.5%(前期は67.6%)となり、1株当たり純資産は2,012円23銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローにつきましては、当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて17億89百万円増加し、143億64百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は、74億78百万円(前連結会計年度は61億90百万円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、46億53百万円(前連結会計年度は31億63百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、12億85百万円(前連結会計年度は16億99百万円の使用)となりました。これは主に配当金の支払やリース債務の返済等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
自己資本比率	60.9	65.3	66.5	67.6	68.5
時価ベースの自己資本比率	88.4	82.3	76.4	84.9	77.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.9	0.8	0.4	0.2	0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ	65.7	87.2	306.4	475.3	813.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュフロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

変異株を含めた新型コロナウイルス感染拡大の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続くと思われれます。主原料である小麦粉や油脂、糖類、包材など原材料価格高騰の懸念もあり、当社グループを取り巻く経済環境につきましては厳しい状況になると予測されます。

このような状況にあって当社グループは、「常により良い商品と最善のサービス（ベストクオリティ・ベストサービス）を通じて、お客様ご家族に、おいしさ、楽しさ、満足を提供する」という経営理念のもと、洋菓子、製菓の両事業を併せ持つという当社の強みを生かして売上と利益の確保につとめてまいります。

各事業別の対処すべき課題は次のとおりです。

<洋菓子事業>

洋菓子チェーン店では、高品質・高付加価値製品の品揃えを充実させることにより、お客様に選ぶ楽しさを提供して製品の拡販につとめます。広域流通企業との取り組みについては、主力生産ラインを有効に活用できる製品や当社の技術力を活かした製品の提案を促進いたします。

これらの施策を支える販売促進策を強化して売上確保をはかり、個店において製品ロスの低減や人件費管理にITシステムを活用するなど効率化を促進して収益性を高め、原材料価格増に対応してまいります。

次期は「ショートケーキ」発売100周年に当たり、これをテーマにした店舗の開設や記念製品の発売などのキャンペーンを実施してまいります。

レストランにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、厳しい状況に置かれておりますが、好調なケーキ類の拡販や店舗改装、メニュー強化に取り組んでまいります。

<製菓事業>

菓子においては、「カントリーマアム チョコまみれ」シリーズの生産設備をさらに増強するなど主力生産ラインの稼働を促進させて生産性向上に取り組めます。さらに、キャンペーンやSNS等を活用した販売促進策を多方面で展開して売上確保をはかります。

また、「アンパンマンペロペロチョコレート」のトレーの薄肉化をはじめ、製品の個包装、外装等のサイズや厚みを見直し、プラスチック包材の削減をはかるなど、地球環境問題へ取り組むと同時に、原材料費や物流費の削減につなげ、収益性向上につとめてまいります。

次期は「ルック」発売60周年に当たり、これをテーマにした記念製品発売などのキャンペーンを実施してまいります。

海外事業では、中国経済停滞の影響が懸念されますが、現地代理店との連携を強化し、主力製品の「ポップキャンディ」を軸に売上確保につとめるとともに、ビスケット製品の生産体制を増強するなど、拡販に注力いたします。さらに、東南アジアの市場開拓の取り組みを強化し、海外事業の売上確保を目指してまいります。

また、当社は、現在持分法適用関連会社である日本食材株式会社の株式を追加取得し、同社の発行済株式の過半数を有することにより、同社を連結子会社化いたします。これにより当社は、主に製菓事業において同社と生産面などの関係性を強化してまいります。

上記すべての事業活動において安全・安心な製品の製造・販売に際し、FSSC22000（食品安全マネジメントシステムに関する国際規格）を含め、事業の基盤となる食品安全衛生管理を着実に実行するとともに、労災ゼロ、異物混入クレームゼロを目標に、業務に取り組んでまいります。

当社グループを取り巻く環境は、厳しい状況が続くと思われれますが、前記の各施策を着実に実行し、堅実に業績を確保できるようつとめてまいります。

以上により、通期の連結業績は、売上高990億円と予想しております。2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用いたしますが、当該基準適用の影響を除外した実質の伸び率は3.4%増となります。営業利益53億円、経常利益58億円、親会社株主に帰属する当期純利益34億円と予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間比較可能性を考慮し、会計基準は日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,943	16,552
受取手形及び売掛金	13,196	14,090
商品及び製品	3,567	3,062
仕掛品	379	356
原材料及び貯蔵品	1,991	2,422
その他	811	876
貸倒引当金	△271	△250
流動資産合計	35,619	37,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,357	31,115
減価償却累計額	△23,313	△24,119
建物及び構築物（純額）	7,043	6,995
機械装置及び運搬具	53,660	53,028
減価償却累計額	△43,678	△43,295
機械装置及び運搬具（純額）	9,982	9,732
工具、器具及び備品	3,919	4,156
減価償却累計額	△3,391	△3,661
工具、器具及び備品（純額）	528	494
土地	3,647	5,243
リース資産	3,000	2,856
減価償却累計額	△2,167	△2,222
リース資産（純額）	832	633
建設仮勘定	875	2,444
有形固定資産合計	22,909	25,544
無形固定資産		
商標権	653	599
ソフトウェア	774	509
その他	525	585
無形固定資産合計	1,953	1,693
投資その他の資産		
投資有価証券	6,518	6,842
長期貸付金	361	306
繰延税金資産	1,335	1,452
敷金及び保証金	2,114	2,082
退職給付に係る資産	246	308
その他	473	511
貸倒引当金	△164	△131
投資その他の資産合計	10,885	11,372
固定資産合計	35,748	38,610
資産合計	71,367	75,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,988	6,311
短期借入金	1,222	1,068
1年内償還予定の社債	90	-
リース債務	332	213
未払金	5,321	5,878
未払法人税等	908	745
賞与引当金	341	389
その他	2,938	3,307
流動負債合計	17,142	17,915
固定負債		
長期借入金	108	-
リース債務	490	353
繰延税金負債	63	63
退職給付に係る負債	2,390	2,141
長期末払金	3	-
その他	882	890
固定負債合計	3,939	3,448
負債合計	21,082	21,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,065	4,062
利益剰余金	25,763	28,549
自己株式	△18	△16
株主資本合計	48,090	50,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186	196
繰延ヘッジ損益	-	0
為替換算調整勘定	△0	668
退職給付に係る調整累計額	△41	125
その他の包括利益累計額合計	144	991
非支配株主持分	2,049	2,488
純資産合計	50,284	54,356
負債純資産合計	71,367	75,720

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	99,085	104,751
売上原価	52,363	54,643
売上総利益	46,722	50,107
販売費及び一般管理費	44,224	45,961
営業利益	2,497	4,146
営業外収益		
受取利息	68	91
受取配当金	46	26
持分法による投資利益	352	476
助成金収入	-	424
雑収入	124	134
営業外収益合計	592	1,154
営業外費用		
支払利息	13	9
雑損失	40	72
営業外費用合計	53	82
経常利益	3,036	5,218
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	2	-
助成金収入	69	-
特別利益合計	72	4
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産廃棄損	109	141
減損損失	169	503
投資有価証券評価損	-	7
臨時休業等関連損失	142	-
災害損失	-	17
特別損失合計	421	672
税金等調整前当期純利益	2,687	4,550
法人税、住民税及び事業税	1,161	1,173
法人税等調整額	89	△176
法人税等合計	1,250	996
当期純利益	1,436	3,553
非支配株主に帰属する当期純利益	390	380
親会社株主に帰属する当期純利益	1,046	3,173

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	1,436	3,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	1
為替換算調整勘定	88	934
退職給付に係る調整額	△144	167
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	8
その他の包括利益合計	△19	1,111
包括利益	1,416	4,665
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,001	4,020
非支配株主に係る包括利益	415	645

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2020年1月1日 至2020年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,280	4,065	25,103	△18	47,431
当期変動額					
剰余金の配当			△386		△386
親会社株主に帰属する当期純利益			1,046		1,046
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					-
連結子会社株式の取得による持分の増減					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	659	△0	659
当期末残高	18,280	4,065	25,763	△18	48,090

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	150	-	△64	102	189	1,802	49,423
当期変動額							
剰余金の配当							△386
親会社株主に帰属する当期純利益							1,046
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							-
連結子会社株式の取得による持分の増減							-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	36	-	63	△144	△44	246	202
当期変動額合計	36	-	63	△144	△44	246	861
当期末残高	186	-	△0	△41	144	2,049	50,284

当連結会計年度(自2021年1月1日 至2021年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,280	4,065	25,763	△18	48,090
当期変動額					
剰余金の配当			△386		△386
親会社株主に帰属する当期純利益			3,173		3,173
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		2	2
連結子会社株式の取得による持分の増減		△3			△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	△3	2,786	2	2,785
当期末残高	18,280	4,062	28,549	△16	50,875

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	186	-	△0	△41	144	2,049	50,284
当期変動額							
剰余金の配当							△386
親会社株主に帰属する当期純利益							3,173
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							2
連結子会社株式の取得による持分の増減							△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	9	0	669	167	847	439	1,286
当期変動額合計	9	0	669	167	847	439	4,071
当期末残高	196	0	668	125	991	2,488	54,356

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,687	4,550
減価償却費	4,121	4,074
減損損失	169	503
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△30	△53
受取利息及び受取配当金	△115	△118
支払利息	13	9
持分法による投資損益 (△は益)	△352	△476
固定資産売却損益 (△は益)	0	△2
固定資産廃棄損	109	141
臨時休業等関連損失	142	-
助成金収入	△69	△424
売上債権の増減額 (△は増加)	722	△780
たな卸資産の増減額 (△は増加)	400	150
仕入債務の増減額 (△は減少)	△689	235
未払金の増減額 (△は減少)	△72	578
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	20	△8
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△41	△61
その他	△280	△23
小計	6,734	8,291
利息及び配当金の受取額	236	279
利息の支払額	△13	△9
法人税等の支払額	△700	△1,439
その他	△65	355
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,190	7,478
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△243	1,575
有形固定資産の取得による支出	△2,803	△5,779
有形固定資産の売却による収入	15	8
無形固定資産の取得による支出	△50	△181
敷金及び保証金の差入による支出	△55	△44
敷金及び保証金の回収による収入	156	97
その他	△182	△329
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,163	△4,653
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30	△20
社債の償還による支出	△140	△90
長期借入金の返済による支出	△425	△242
リース債務の返済による支出	△550	△341
配当金の支払額	△384	△385
非支配株主への配当金の支払額	△168	△205
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,699	△1,285
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	250
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,345	1,789
現金及び現金同等物の期首残高	11,230	12,575
現金及び現金同等物の期末残高	12,575	14,364

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「洋菓子事業」及び「製菓事業」の2つを報告セグメントとしております。

「洋菓子事業」は、ケーキ、ベーカリー、デザート等の洋菓子類の販売と飲食店の運営をしております。「製菓事業」は、チョコレート、キャンディ、ビスケット等菓子類と飲料、乳製品等の販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

事業セグメントの利益は営業利益をベースとした数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2, 4, 5, 6	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,939	68,022	95,961	3,123	99,085	—	99,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	580	580	543	1,123	△1,123	—
計	27,939	68,602	96,542	3,666	100,208	△1,123	99,085
セグメント損益(△は損失)	△1,550	6,498	4,947	810	5,758	△3,260	2,497
セグメント資産	21,058	34,859	55,918	3,184	59,102	12,264	71,367
その他の項目							
減価償却費	1,279	2,415	3,695	322	4,018	103	4,121
持分法適用会社への投資額	2,678	60	2,738	—	2,738	2,880	5,619
有形固定資産及び無形固定 資産等の増加額	565	2,136	2,701	343	3,044	280	3,325

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△3,260百万円には、その他の調整額2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,262百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 セグメント損益(△は損失)の額の算定に含まれておりませんが、取締役会に対して、持分法投資利益が定期的に提供され使用されております。

(洋菓子事業) 191百万円 (製菓事業) 160百万円

5 セグメント資産の調整額12,264百万円は全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、未収入金及び本社の管理部門に係る資産等であります。

- 6 その他の項目の減価償却費の調整額103百万円は全社費用に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産等の増加額の調整額280百万円は、全て全社有形固定資産及び無形固定資産等であります。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2, 4, 5, 6	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,578	72,185	101,763	2,987	104,751	—	104,751
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	589	589	515	1,105	△1,105	—
計	29,578	72,774	102,353	3,503	105,856	△1,105	104,751
セグメント損益(△は損失)	△650	7,862	7,212	471	7,683	△3,537	4,146
セグメント資産	22,048	35,932	57,981	2,488	60,469	15,250	75,720
その他の項目							
減価償却費	1,294	2,392	3,687	232	3,919	154	4,074
持分法適用会社への投資額	2,678	60	2,738	—	2,738	3,206	5,945
有形固定資産及び無形固定 資産等の増加額	1,178	3,396	4,574	90	4,665	1,844	6,509

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△3,537百万円には、その他の調整額14百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,552百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 セグメント損益(△は損失)の額の算定に含まれておりませんが、取締役会に対して、持分法投資利益が定期的に提供され使用されております。

(洋菓子事業) 337百万円 (製菓事業) 139百万円

5 セグメント資産の調整額15,250百万円は全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、未収入金及び本社の管理部門に係る資産等であります。

6 その他の項目の減価償却費の調整額154百万円は全社費用に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産等の増加額の調整額1,844百万円は、全て全社有形固定資産及び無形固定資産等であります。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の売上高の金額が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	合計
19,804	3,104	22,909

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社山星屋	11,195	製菓事業及び洋菓子事業

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の売上高の金額が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	合計
21,115	4,428	25,544

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社山星屋	11,281	製菓事業及び洋菓子事業

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	洋菓子事業	製菓事業	計				
減損損失	169	—	169	—	169	—	169

(注) 当社連結子会社が保有する洋菓子事業の直営店舗及び店舗運営に係わる固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失169百万円を計上いたしました。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	洋菓子事業	製菓事業	計				
減損損失	466	36	503	—	503	—	503

(注) 当社及び当社連結子会社が保有する洋菓子事業の直営店舗及び店舗運営に係わる固定資産や製菓事業に係わる固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失503百万円を計上いたしました。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	1,871.39円	2,012.23円
1株当たり当期純利益金額	40.59円	123.11円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,046	3,173
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属す る当期純利益(百万円)	1,046	3,173
期中平均株式数(千株)	25,775	25,775

(注) 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	50,284	54,356
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	48,235	51,867
貸借対照表の純資産の部の合計額と 1株当たり純資産額の算定に用いら れた普通株式に係る期末の純資産額 との差額の主な内訳(百万円)		
非支配株主持分	2,049	2,488
普通株式の発行済株式数(千株)	25,784	25,784
普通株式の自己株式数(千株)	9	8
1株当たり純資産額の算定に用いら れた普通株式の数(千株)	25,775	25,776

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

(1)代表者の変動

該当事項はありません。

(2)その他の役員の変動 (2022年3月24日付)

①新任取締役候補

取締役 飯島 幹雄
(現 山崎製パン株式会社 取締役副社長、株式会社東ハト 代表取締役社長、
B-R サーティワンアイスクリーム株式会社 社外取締役)

取締役(社外取締役) 神長 善次
(現 株式会社東ハト 社外監査役、株式会社サンデリカ 社外監査役)

②昇任取締役候補

常務取締役 洋菓子事業本部担当、菓子事業本部担当、菓子事業本部長
富永 寿哉
(現 取締役 菓子事業本部長兼菓子事業本部営業本部長)

③退任予定取締役

取締役相談役 飯島 延浩
(山崎製パン株式会社 代表取締役社長〔現任〕、株式会社東ハト 代表取締役会長〔現任〕)

専務取締役 洋菓子事業本部担当、菓子事業本部担当、購買担当
瓜生 徹

以 上